



THINK WITH A CHILD.

こどもの心を真ん中に考える。

地域を織りなす「Tamaステーションなる訪問看護」
「Tamaステーション福々研究研修」「子ども等地域支援」

KEEP SMILING

笑顔あふれる社会を目指して。

こんにちは。東京都府中市で小児中心の訪問看護を展開している「スペースなる」の公式サイトです。「スペースなる」では、子どもの成長発達支援や家族支援に重点をおいた「Tamaステーションなる訪問看護事業」の他、重い障害や医療的ケアがあっても自宅で過ごせる地域づくりのため、各種研究・研修事業、地域支援事業にも取り組んでおります。訪問エリアは、府中市、国立市、国分寺市など。いつでもお気軽にご相談ください。

一緒に働いてくれる仲間も募集中！学びのチャンスがいっぱいです！



選んだ理由

- 一目で「子ども向け」と分かる
- 利用者の声（保護者の声）が感情として伝わる
- 温かい雰囲気＋視覚的安心感がある
- 利用後の変化が想像できる
- 行政×地域を押し出すことで、親心理に寄り添う“安心感の演出”

真似したいところ

- 世界観が統一されている
- 保護者の声・ストーリー形式
- ビジュアルで“空気感”を伝える（サービス内容がわかりづらい）
- 安心感の獲得の動線
- 主語の使い方が、上手。子供が中心にありながらも利用者は親というのが明確



選んだ理由

- 明るく、読みやすい
- 色と空間の使い方が“子ども向け”にマッチ
- 情報が整理され、迷わない
- 支援内容が多い＝複雑になっていない

真似したいところ

- 1セクション＝1メッセージで見出しを見れば内容が分かるように設計されている。
- 文字量がコントロールされている
- 視線の流れがシンプル
- 色・余白・写真のトーンが統一されている
- 子ども向け＝ポップすぎない
- 専門性が出されているが、白すぎない



選んだ理由

- 専門性の見せ方が上手
- 清潔感・信頼感の演出が強い
- お問い合わせ導線が抜群に分かりやすい
- 説明が端的で、専門性を振りかざさない

真似したいところ

- 医療系としての清潔感・安心感
- 問い合わせまでの距離が近い
- 営業感・医療職の信頼感を“圧なく”伝える設計

どうしても福祉サービスが必要だとしたら、
同社の相談支援専門と連携をとり、
いち早く障害福祉の
ヘルパーサービスの導入を可能にします。

更に有名スポーツ選手のリハビリも担当している
優秀な理学療法士（PT）も在籍しておりますので、
リハビリでの訪問もお気軽にお声がけ下さい。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓
[青葉訪問看護へお問い合わせをする](#)

笑顔になってくれるご利用者様を見ると、
私たちの看護がお役に立っている。

そう心から感じられます。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓
[青葉訪問看護へお問い合わせをする](#)

ご利用者様が親しみやすい関係を心がける



心身や精神的な障害の方は、
身体的な障害とは違い、
目に見えない事が難しいのですが、
信頼関係を築く事で、
心進んでしまう前に対応をさせていただきます。

↓ ↓ ↓ ↓ ↓
[青葉訪問看護へお問い合わせをする](#)